

Rマッピと図面を重ねる前に確認すること

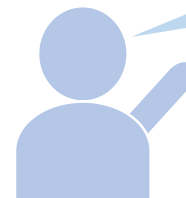
① 所有している図面全ての縮尺(寸法)を合わせること

全ての縮尺を統一し、寸法を合わせて重ねられる状態にすること

② 調査地の位置を特定する際は、
必ず調査地にとって不利側となるように合わせること

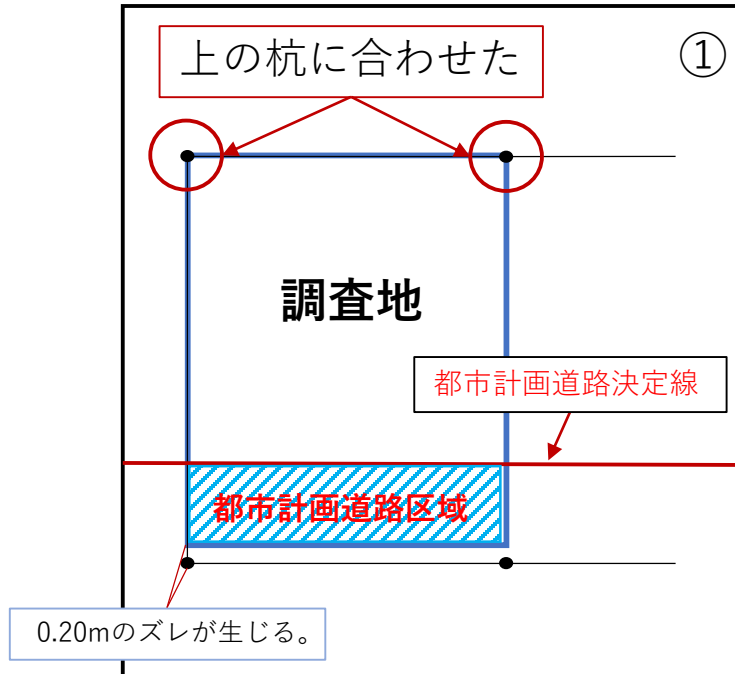
※境界点とは、市が道路境界として定めている杭等の位置を示しているものです。境界調査図で市杭・市鋸・民杭・図上点等様々な種類の標で境界を定めていますが、現地には杭等が存在しない場合があります。

吹き出しの中も重要だから
ちゃんと読んでね！

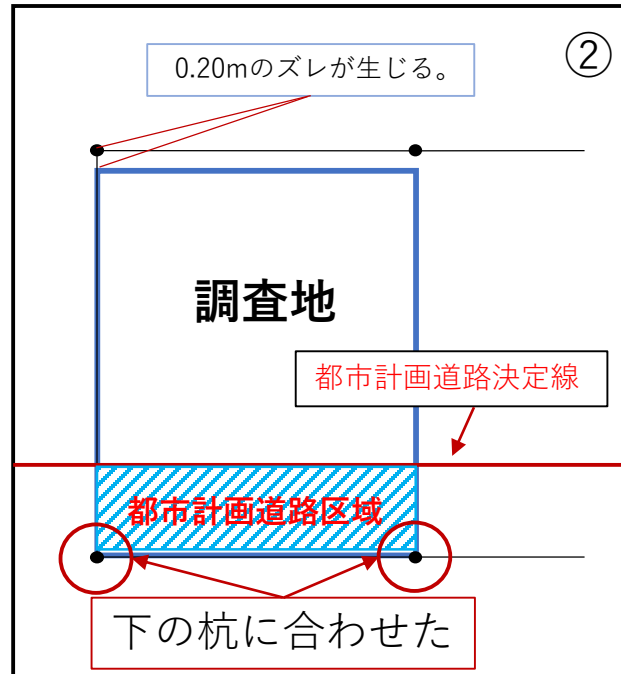


不利側についての考え方

調査地の位置を特定する際に、道路境界線と調査地図面の杭・外形が完全に一致しない場合は、**調査地に対して厳しい制限の割合が大きくなるように（不利側）**合わせます。不利側に合わせることで、都市計画道路の抵触や制限超過などの問題が発生するリスクが低くなります。

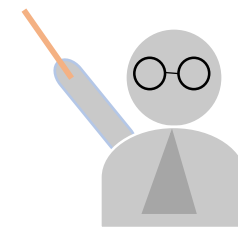


①上の杭で合わせた場合



②下の杭で合わせた場合

左図のように、測量精度の誤差により、測量成果とRマップ（区域線図）の境界点とズレが生じる場合があります。その場合、**調査地に対して厳しい制限の割合が大きくなるように（不利側）**合わせます。左図の場合、**都市計画道路が調査地に対して抵触する割合が大きい方が不利側**と考えられるため、②の合わせ方をします。



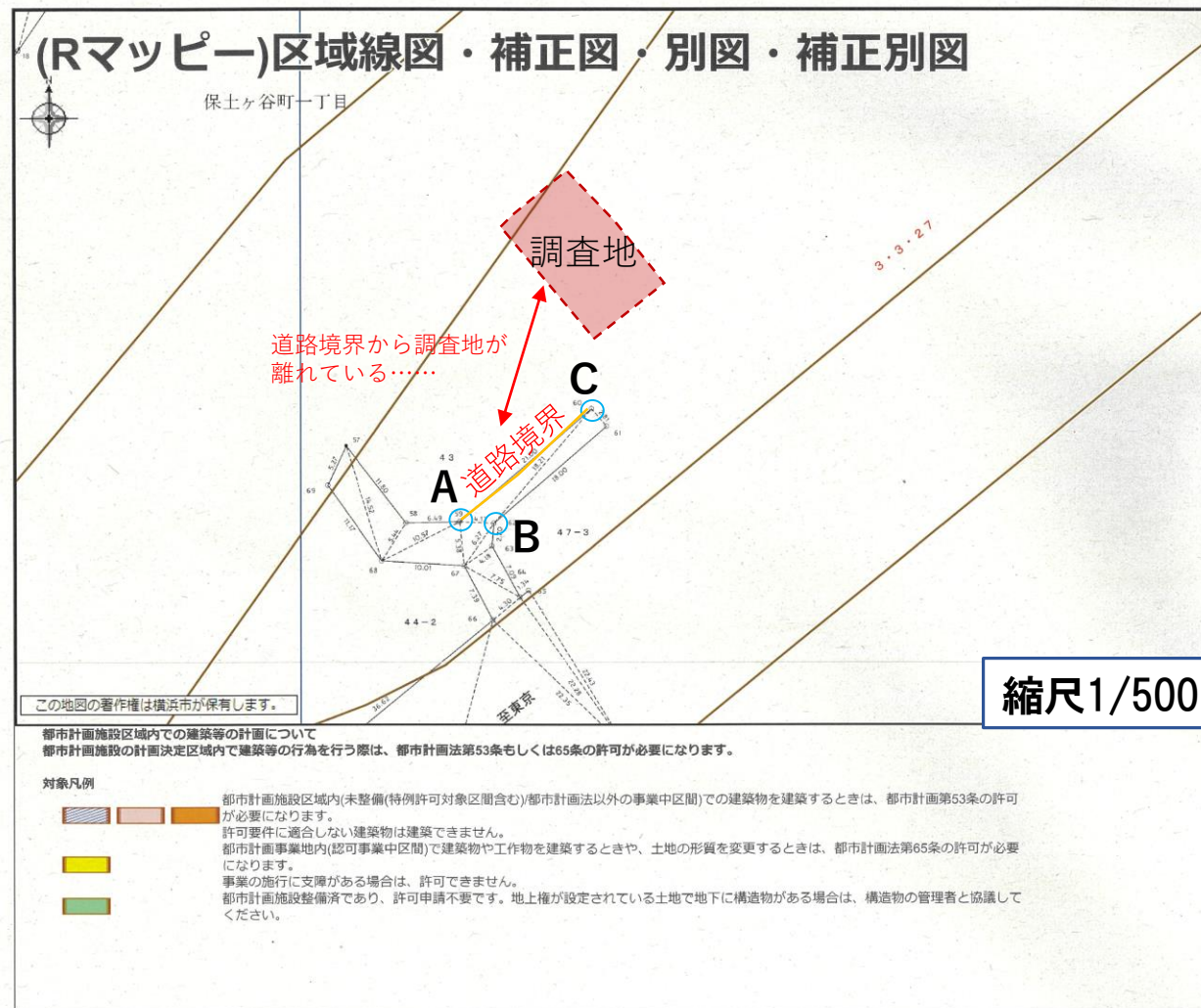
※都市計画道路と同様に用途界と防火界も不利側に考えます。

用途界：厳しい用途制限の割合が大きくなる方が不利側です。

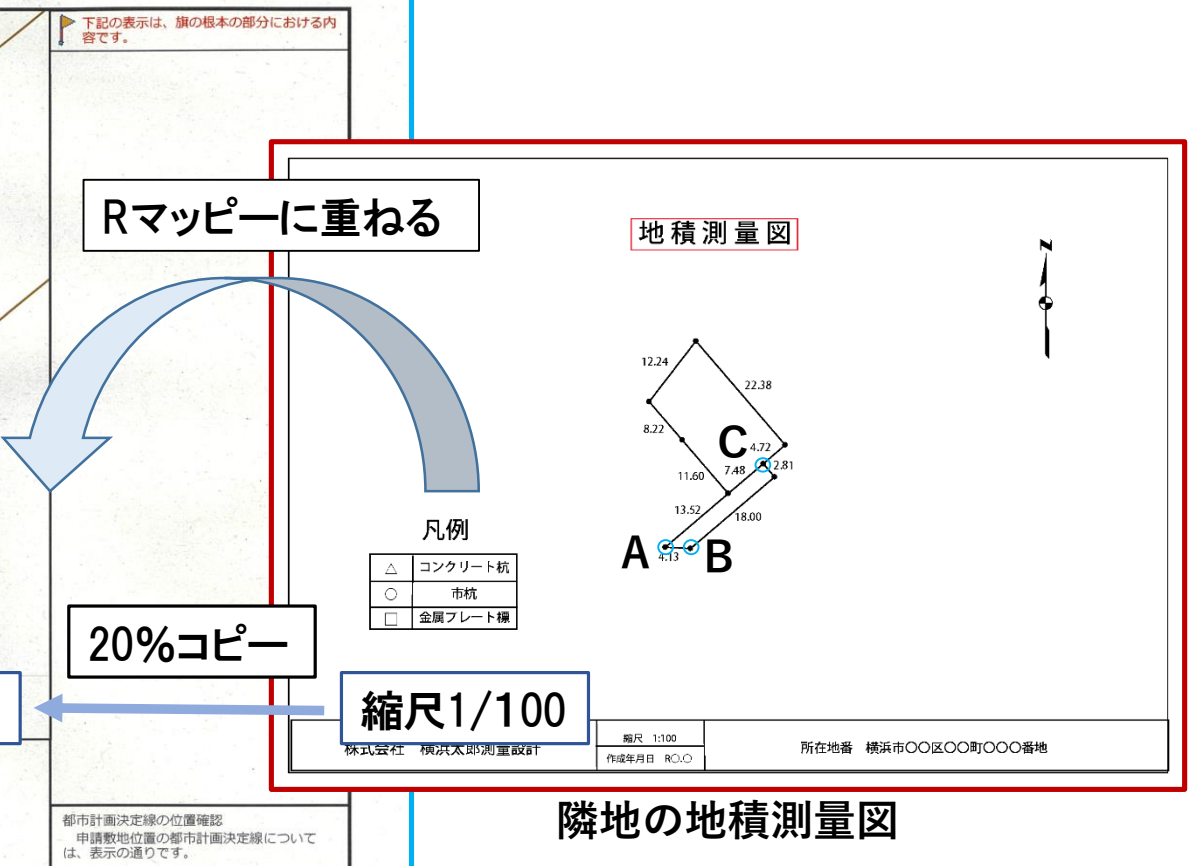
防火界：厳しい防火制限の割合が大きくなる方が不利側です。（防火地域＞準防火地域＞防火指定なし）

調査地がRマッピの区域線図から離れている場合 ～隣地図面編～

①Rマッピ（区域線図）と隣地図面の縮尺を合わせ、両図面の点と道路境界線を一致させて重ねる。



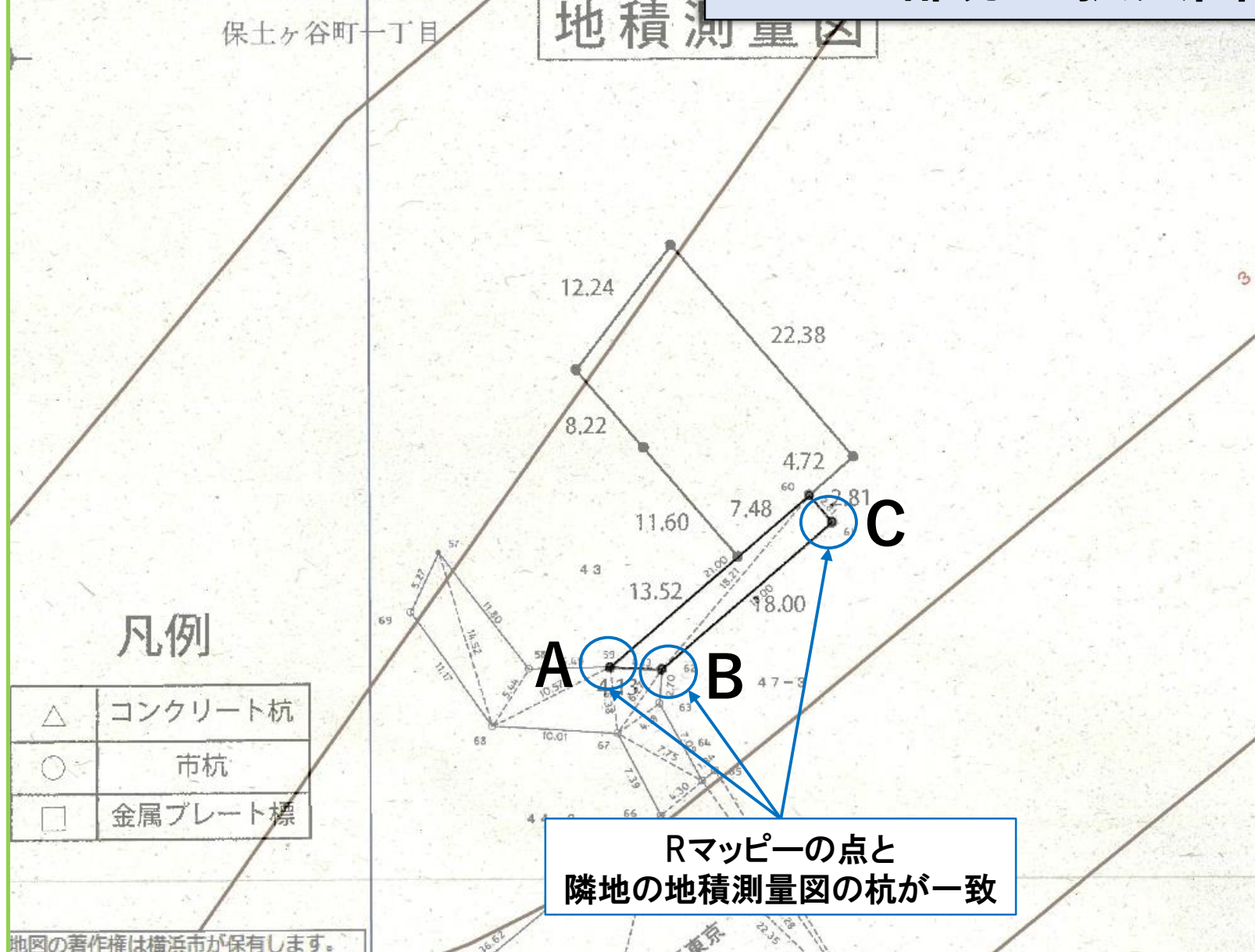
Rマッピ（区域線図）



隣地の測量図はRマッピの境界点と合っ
そうだけど、調査地図面の杭とは合っ
なあ・・・
隣地の測量図を使って調査地の位置を特定でき
ないかな？まずは、図面の縮尺を合わせないと
なあ。

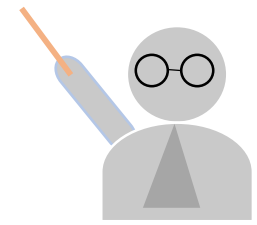


Rマッピー)区域線図・補 重ねた部分の拡大図

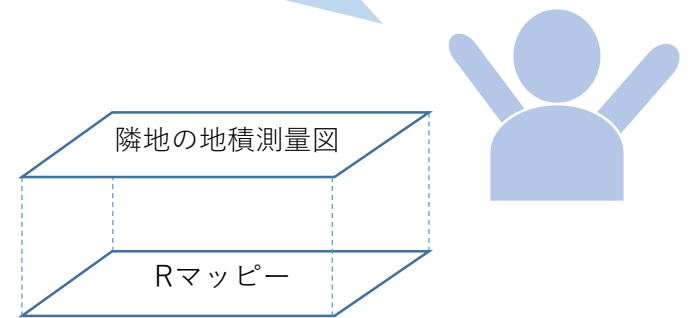


Rマッピー（区域線図）＋隣地の地積測量図

まず、Rマッピーの境界点と隣地の地積測量図の杭を合わせます。杭から杭までの距離の数値が完全一致しなくても、**±0.25mなら一致**と考えられます。

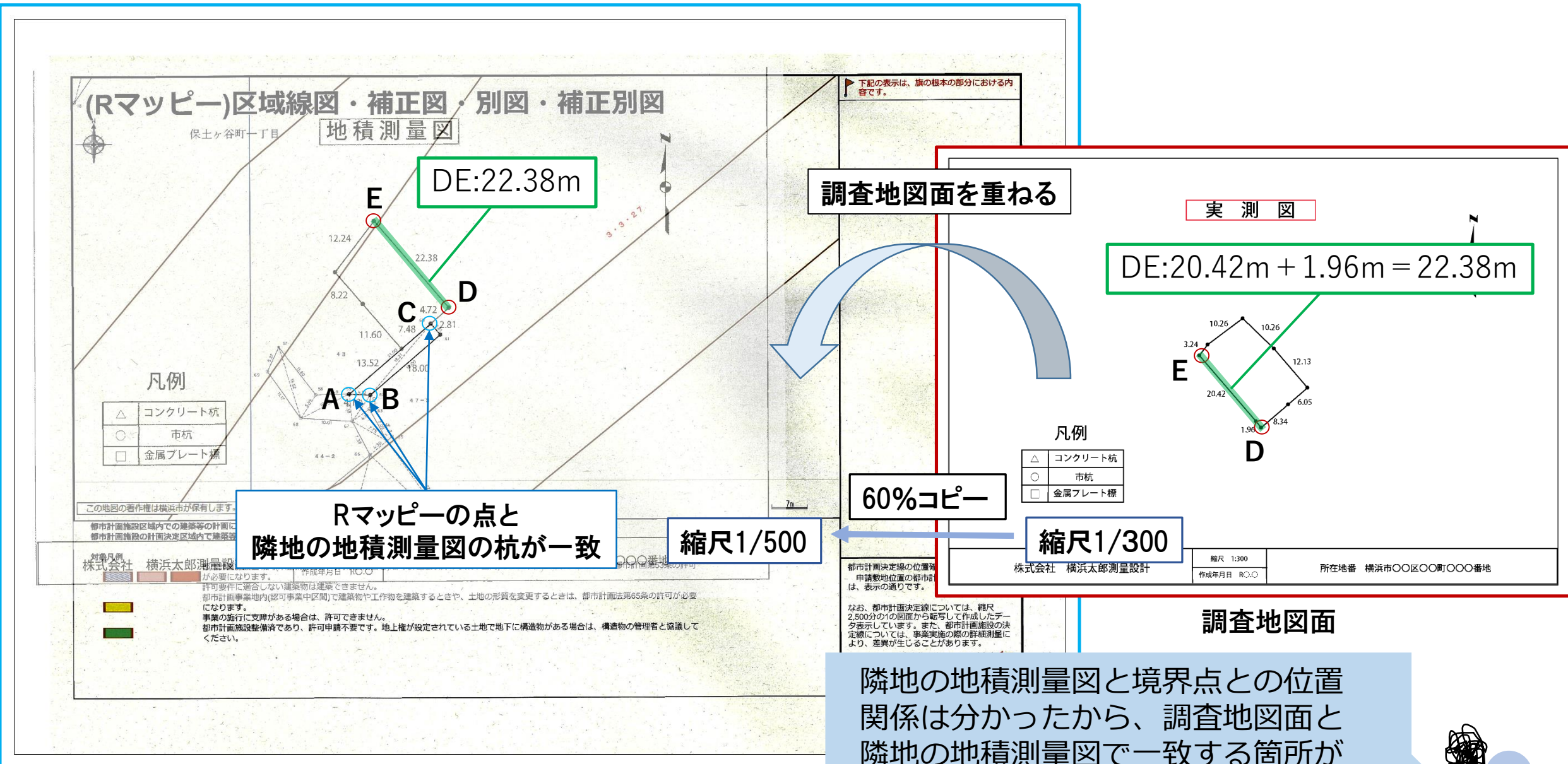


地積測量図以外の隣地図面(建築計画概要書、地籍図)も図面形式が似てるから、位置特定の図面に使えます！



重ね図イメージ

②調査地図面と①で重ねた図面の縮尺を合わせ、両図面の点と隣地境界線を一致させて重ねる。



Rマップ（区域線図） + 隣地の地積測量図

重ねた部分の拡大図

隣地の測量図の杭と
調査地図面の杭が一致

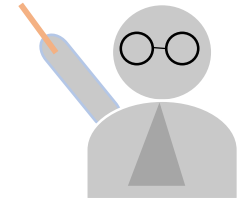
$$EF: 20.42\text{m} + 1.96\text{m} = 22.38\text{m} \rightarrow \text{一致}$$

Rマッパーの点と
隣地の地積測量図の杭が一致

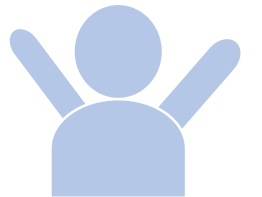
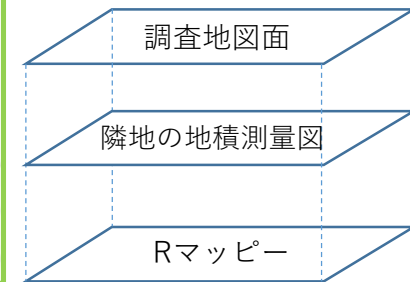


Rマッパー（区域線図） + 隣地の地積測量図 + 調査地図面

隣地の地積測量図と調査地図面の隣地境界線（杭）を一致させて重ねることで位置特定が可能になります。
杭と杭の距離を足した数値と重ねる図面の距離が一致すれば問題ないです。±0.25mは一致と考えられます。



境界点から調査地まで数軒が間にあっても、同じように隣地境界線を合わせてたどっていけば、位置特定できそう！
申請地周辺の測量図はできるだけ集めてから、作業しよう！



重ね図イメージ